



# 東区は どんなまち？

**南部**  
大企業の本社などのビルが立ち並び、経済活動の拠点としての役割を担っている。愛知芸術文化センターがあり、芸術文化施設も充実。

**北西部から中心部**  
閑静な住宅地が広がる地域。市の町並み保存地区に指定されている「白壁・主税・榎木」地区は、江戸時代の武家屋敷の面影と戦前的高级住宅地の雰囲気を残している。

**北部**  
大曽根地区の都市改造など都市計画事業による新しいまちづくりがすすめられている。

**東部**  
高層住宅が林立。バンテリンドームナゴヤでは、プロ野球や各種のイベントが開催され、名古屋の名所になっている。

## 1 どんな被害が想定されている？

### 現在東区で想定されている災害と被害の規模

地震の揺れ	最大で震度 <b>6強</b>
液状化可能性	<b>なし～大</b>
洪水	最大浸水深 <b>5.6m</b>
内水氾濫	浸水深 <b>5m～10m未満</b>

(東区各種ハザードマップより)

あなたの自宅はどのような被害が予測されていますか？各種ハザードマップで確認しましょう。



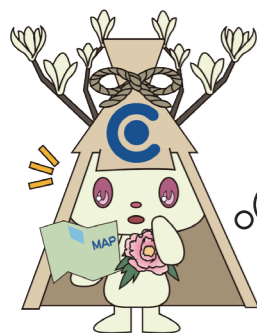
### 参考) 東区で過去に発生した災害による被害



発生した日	名称	規模	住家半壊
1944年12月7日	東南海地震	M7.1	18



発生した日	名称	人的被害	住家全壊・半壊	住家床上・床下浸水
2017年7月12日	集中豪雨	0	0	36
2000年9月11日	東海豪雨	0	0	262
1959年9月26日	伊勢湾台風	265	406	351



東区  
マスコットキャラクター  
ヒガシノスケ

2000年に発生した東海豪雨では、葵・筒井・明倫・矢田・砂田橋の5学区で住家床上・床下浸水の被害が確認されました。

特に矢田学区の被害は大きく、住家世帯の床上浸水は52棟、床下浸水は197棟の被害があったと記録されています。

## 2 どんな土地の特徴がある？影響する災害リスクは？

### 昔の東区の姿は？

#### 洪水で流れの変わった矢田川



#### 矢田川の旧河道と新河道の比較

参考:「北区の歴史」(愛知県郷土資料刊行会発行)

矢田川はかつて長母寺(現在の矢田三丁目)の南側を流れていましたが、明和4年(1767年)に起きた「亥年の洪水」により陸地を突き破り、北側を流れるようになりました。

矢田・砂田橋学区付近では…

**洪水・内水氾濫・液状化のリスクあり**

現在の川の近くのほか、かつて矢田川が流れていた川底部分では地盤が弱いため、内水氾濫や液状化の可能性が高くなります。

### 昔の東区の姿は？

#### 縄文・弥生時代の遺跡と海岸線

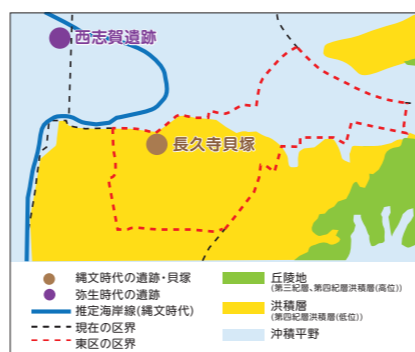


写真:長久寺貝塚出土品(博物館に保管)

参考:名古屋市歴史まちづくり戦略

今でこそ海岸から離れた場所にある東区ですが、昔は海岸線が付近まで入り込んでいたという記録があります。縄文時代に残されたとされる長久寺貝塚(現在の白壁三丁目)が発見されています。

東桜・山吹・東白壁・筒井・葵・明倫・旭丘学区の一部地域では…

**内水氾濫・液状化のリスクあり**

東区の南側は台地の上であり、地盤が比較的しっかりしたエリアですが、場所によっては内水氾濫や液状化の可能性が高くなっている場所があります。

### 日頃から災害に備えよう！

- ・いざという時の行動を考える(裏面のタイムラインを作成)
- ・避難所開設運営訓練など地域の防災訓練に参加する
- ・非常持ち出し品を準備する(P9～p10)
- ・在宅避難を検討してみる(P26～p27)

できることから  
少しずつ  
取り組んでみましょう。

